

## 四国支部現場見学会 実施報告

報告 福家佳則

2月4日に、新名神高速道路「大津大石トンネル工事」の現場見学会を開催しました。昨今のコロナ禍の状況を鑑み、従来のように現場を訪問してではなく、ビデオやパワーポイントを利用したオンライン見学会とさせていただきました。

当工事は、西日本高速道路（関西支社）にて新名神高速道路の一環として滋賀県大津市に建設されている道路トンネル工事です。当トンネルは三車線トンネルであり、大津側から上下線の掘削が進められています。

上り線は先に導坑で貫通し、現在は出口側の明かり工事のアクセストンネルとして利用されています。下り線では150㎡にも及び大断面掘削が、様々な工夫を凝らしながら安全に進められていました。

工事概要は次の通りです。

- 工事名 : 新名神高速道路 大津大石トンネル工事
- 施工者 : 鹿島建設株式会社
- 発注者 : 西日本高速道路（関西支社）
- 工事場所 : 滋賀県大津市大石東町 ～ 滋賀県大津市大石龍門町
- トンネル概要：
  - ・延長 上り線 695m 下り線 924m NATM
  - ・（主な特徴）頁岩における大断面施工、ICT を利用した施工管理など

次の通り実施いたしました

日時： 令和4年2月4日（金） 14:15 ～ 受付開始  
14:30～16:00 工事説明、意見交換

開催方式：ZOOM を利用した WEB 開催

<<実施内容>>

本見学会には、WEB 参加と会場参加を合わせて50名ほどの方が参加されました。

まず、影山所長から次の内容を1時間ほどかけて説明していただきました。

- ① 工事概要
- ② ビデオを利用した現場見学
- ③ ICT を利用した切羽立会などについて

その後、30分ほど、質問の時間をもらいました。

次のような内容に興味を持って聞いておられたようです。

- ① サイドダンプ、ドリルジャンボ、吹付機を2台使用した大断面トンネル掘削について。
- ② 3車線断面の途中から導坑断面に変更し、貫通を8か月早めることで、貫通側の明かり工事の早期完成に貢献したこと。  
発注者の立場を考え、有効な設計変更をされたこと。
- ③ 坑内照明の工夫（明るい照明、すべてLED採用）
- ④ ベッセルダンプによるずりだし
- ⑤ 導坑先進する際の本坑支保、補助工法の考え方について
- ⑥ 補助工法の採否決定にビデオや各種穿孔データを利用していること
- ⑦ 切羽の立会・判定にICTを用いていること

以上のように、皆様、興味が尽きない様子でした。

実際に現場を見られないもどかしさはあったようですが、おかげさまで盛況の元に終了することができました。

参加各位のご協力に心より感謝申し上げます。

以上